

プロジェクト名 令和2年度第1回英語交流のまち lwakuni 創生プロジェクト検討会	
日時 2020年08月6日 15:30-17:00	出席者
資料 1.パブリックコメント・キャッチフレーズについて 2.推進スケジュールについて 3.適地・整備スケジュール、整備基本計画の策定について 4.整備基本計画の進捗状況について	検討会メンバー： 岩野（座長）、ソーレンセン、浜桐、安堂、中邑、岡崎、波田、大岩根、二上、藏重、角谷、竹田（欠席）
	岩国市教育委員会：教育次長（三浦）、教育政策課長（村上）、 事務局：英語教育推進室（永木、中本）
	光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所（JMA）： 光井、原、東條、藤江
	合同会社 DMM.com：宇野澤

Minutes

Note

<p>1.開会、事務局あいさつ</p> <p>【教育次長：三浦】近年の国際化により岩国市内においても外国人の増加に伴い、国際共通語としての英語の重要性が高まっている。コミュニケーションの手段として英語が日常的に使われている状況になると認識している。本市は基地とともに歩んできたまちとして英語の学びや国際交流が充実した英語交流のまちを実現するため、昨年の検討会の委員の意見をいただきながら英語交流のまち lwakuni 創生プロジェクトを作成することができた。今日は概要版を配布している。座長、委員の方々にはご協力いただき感謝申し上げます。この取り組みは市内全域に広がるよう今年度から推進充実を図っている。英語交流、国際交流の拠点となる（仮称）英語交流のまち推進センター整備を進めている。R3年度末の開設を目指して取り組んでいる。今年度はコンセプト・規模について委員の皆様方から意見をいただきながら進めていきたい。引き続きご協力をお願いしたい。</p> <p>2.今年度メンバー自己紹介</p> <p>【安堂委員】（岩国市PTA 連合会会長/周東町小学校PTA）今年度より参加となる。一昨年度渡米した際、単独行動時に周りを気にせず使える英語を使えばなんとかなると体感した。そういった経験を今後児童、生徒にさせることができないかと思っている。よろしくお願いしたい。</p> <p>【角谷委員】（ベネッセコーポレーション）義務教育の小中学校の領域でアセスメント、研修会を行っている。今年はさまざまな影響があり大変な状況ではあるが、協力できるように取り組んでいく。よろしくお願いしたい。</p> <p>【教育次長：三浦】昨年度まで教育政策課長を行い、今年度から教育次長となった。よろしくお願いしたい。</p> <p>【教育政策課長：村上】よろしくお願いしたい。</p> <p>【事務局：中本】（英語教育推進室）本年4月から英語教育推進室に配属となった。よろしくお願いしたい。</p> <p>【JMA：光井】この度、本施設の内容の検討、設計等をさせていただく。英語は仕事で使っており、英語を使ってさまざまな国の方とコミュニケーションできることは大変素晴らしい経験になっているので、英語の交流のまち lwakuni が次の世代のイングリッシュスピーカーを生み出せるように協力させていただければと思っている。</p>	4分45
---	------

3.議題

(1)「英語交流のまち lwakuni 創生プロジェクト基本方針」について

◆パブリックコメント・キャッチフレーズについて

【岩野座長】昨年度皆様のご協力により、素晴らしい基本方針が発行された。カラフルであたたかみのある冊子になった。

【事務局：永木】（配布資料の説明を行った）

- ・「資料1」新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から書面による審査となった。
- ・4人から10件の意見をいただいた。①KPIの指標が低いのではないか、に対してマイルストーンであり、あくまで通過点としている。
- ・③イベント情報など不十分なのではないかに対し、今後検討していく、としている。
- ・⑧保育園、幼稚園など幼少期からの英語教育が重要との意見に対しては、幼小中の学習のつながりをもたせるため9月から市内の希望する幼稚園に対しALTを派遣する、としている。
- ・⑨毎日英語と接することが大切である、との意見があった。
- ・キャッチフレーズについて、57名から249件の応募があった。

◆推進スケジュールについて

【事務局：永木】スケジュールについて、基本方針p.47および概要版にも記載。

- ・子どもたちへの取り組み、地域での取り組みは「資料2」に記載。
- ・今年度から新たに料理教室を行う。
- ・「(仮称)英語交流のまち推進センター」の表記についてはR3年度までに整備を計画している。

【岩野座長】「資料2」のR2年度スケジュール、基本方針での活動一覧について複数やるべきことがあるが、予定通り行えそうか。

【事務局：永木】新型コロナの関係もあるが、子どもたちへの活動は引き続き出来る範囲でやっていきたい。

- ・庁内の連携体制については、新センター整備にあたり、さまざまな機能を設置していくと思うが、各課協議しながら綿密に行っていきたい。

(2) (仮称) 英語交流のまち推進センター整備事業について

◆整備基本計画の進捗状況について

【事務局：永木】「資料3」より、整備箇所はJR岩国駅東口駅前にできるマンション1階約300㎡。今年度整備基本計画の策定と設計を行い、来年度区分所有権を取得し、R3年度末に供用開始で計画している。現在は更地になっている。

- ・英語の学びや学び直しをキーワードとした交流拠点施設を計画し、さまざまな機能を計画している。どのような機能があったらよいかの基本設計、コンセプトについては整備基本計画業務として発注している。
- ・基本的なコンセプトは外国人や日本人が自然に交流できるスペース、英語講座などが開設できるセミナースペース、外国人を対象としてコンサルティングセンター、岩国錦帯橋空港行のバス待ちスペースや賑わい創出空間の整備を考えている。

13分10秒

<p>【JMA：原】受注後、DMM社と組ませていただき、一緒に業務を進めることとしている。</p> <p>【DMM：宇野澤】DMM.make AKIBAというコワーキングスペースを運営している。その中で、年間100回以上のイベントを開催、賑わい創出・人を集めるためには、ということ念頭に置いて活動している。本件においても、力添えをさせていただければと思っている。</p> <p>【JMA：原】（《資料4》を基に以下の3項目について説明を行った）</p> <p>①第1回WSの報告 ②施設コンセプトと空間イメージの提案</p> <p>③ウィズコロナ/アフターコロナの施設計画について</p> <p>【事務局：永木】共用開始はR4年1月末を予定している。</p> <p>【二上委員】コミュニティスペースの飲食は、錦帯橋周辺の市の観光施設でも行っているが、英語表記がなかったことで有料の酒サンプルを同じ外国人グループがずっと飲んで長居してしまい、他のお客さんが入れなくて問題になったことがあり、文化の違いに困ることがあった。計画する上で注意した方がよい。</p> <p>【JMA：原】本施設はマンション1階部分（エントランスを除く）全面を使い、約300㎡。《資料4》p.11の図面を参照いただく。</p>	44分15
<p>【大岩根委員】賑わいの観点で、常に人が来ていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基地内で流れている英語の放送、土日にDJが来てラジオ放送することが可能かどうか検討しても良いかもしれない。 ・岩国ならではのものや小売スペースがあっても良いかもしれない。例えば、防衛省が自衛隊の物をオークションに出して500万円くらい売り上げを出したように、今、岩国にない岩国らしいお土産があると良い。現在シャッター街になっている商店街も昔は色々なお店があり、広島などからの買い物客もいた。 <p>【藏重委員】岩国ならではのものとして、アメリカを意識したものを開発できるとよい。アメリカ行った感じがするもの、アメリカグッズなど。</p>	46分30
<p>【事務局：永木】（本施設は）利用者は、外国人、日本人半々（5：5）くらいの割合を想定している。</p> <p>【安堂委員】日本人の割合が多い場合、フードをアメリカ人がつくって、アメリカ人が運営・販売・提供することで、アメリカの雰囲気が出せたら良い。「英語をしゃべるしかない」という状況、きっかけをつくる場所を無理にでもつくる必要があると思った。</p> <p>【浜桐委員】アメリカ人が集まりにくい現状があるので、アメリカ人が集まりやすい仕掛けが必要。彼らはカフェを好む傾向がある。卸売市場のマメカや18ストア、和木のユカフェ、トモコーヒーは何故外国人が多く集まるのか。カフェを充実させることは魅力的なのではないか。</p>	48分20
<ul style="list-style-type: none"> ・メインが飲食するカフェなのか、コミュニティスペースに少し飲食も提供する形なのか、それにより滞在時間も変わってくる。そこに日米の感覚の違いがあるかもしれないため、はっきりさせた方が良いと思う。 <p>【藏重委員】時間を充実させる。人と会う場所・時間をつぶせる場所は（今の岩国には）日本人でも少ないので、それを充実させることがキーになってくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どう発信するか。日本人にとって当たり前のことでも、外国人にとっては日本語表記だけでは分からない。 ・日本人がここに（アメリカ人が）集まるだろうと思うところと実際は違うケースがよくある。 	50分00
<p>【事務局：永木】（本施設は）利用者は、外国人、日本人半々（5：5）くらいの割合を想定している。</p> <p>【安堂委員】日本人の割合が多い場合、フードをアメリカ人がつくって、アメリカ人が運営・販売・提供することで、アメリカの雰囲気が出せたら良い。「英語をしゃべるしかない」という状況、きっかけをつくる場所を無理にでもつくる必要があると思った。</p> <p>【浜桐委員】アメリカ人が集まりにくい現状があるので、アメリカ人が集まりやすい仕掛けが必要。彼らはカフェを好む傾向がある。卸売市場のマメカや18ストア、和木のユカフェ、トモコーヒーは何故外国人が多く集まるのか。カフェを充実させることは魅力的なのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メインが飲食するカフェなのか、コミュニティスペースに少し飲食も提供する形なのか、それにより滞在時間も変わってくる。そこに日米の感覚の違いがあるかもしれないため、はっきりさせた方が良いと思う。 <p>【藏重委員】時間を充実させる。人と会う場所・時間をつぶせる場所は（今の岩国には）日本人でも少ないので、それを充実させることがキーになってくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どう発信するか。日本人にとって当たり前のことでも、外国人にとっては日本語表記だけでは分からない。 ・日本人がここに（アメリカ人が）集まるだろうと思うところと実際は違うケースがよくある。 	52分30

<p>【事務局：永木】 駐車場はマンションの駐車場を数台程度確保している</p> <p>【藏重委員】 それでは不十分。今人気があるスポットには駐車場がある。</p> <p>・ 子どもの平均年齢は我々が思っている以上に低い。幼稚園～小学校に通わせている親が多く、学校に通わせている時間が一番多い。</p>	54分30 55分08
<p>【大岩根委員】 利用時間の設定や運営スタッフが重要。</p> <p>【二上委員】 最近外国人から、家族で錦川を遊泳できる場所はあるのか、8月から子どもに対して観光施設が無料になるが、外国人も対象かどうか質問がきた。現状、このような質問をどこにしたらいいのかわからない。</p>	56分30
<p>【岩野座長】 多言語化や質問をする場所、窓口が必要。</p> <p>【二上委員】 岩国クエストの英語バージョンもあるといい。</p>	58分02
<p>【岩野座長】 今回の施設のよいところは、ここが「ハブ」で市内や錦帯橋方面へ広がりを持てる場所。</p> <p>【浜桐委員】 プロモーションビデオは外国人にも好評。</p> <p>・ 誰がどのように利用する施設か。アートグループを立ち上げたり、個人が集まり活動できたりする場所になるのか。</p> <p>・ 市の施設の場合、収益等のルールに制限があり、使いづらい施設になってしまわないか。色々面白い試みをしている市民の方もいるので、そういった方が使いやすい場所であればよいと思う。</p>	58分14
<p>【岩野座長】 今までのルールを変え、外国人、日本人が使いやすいようにする必要がある。</p> <p>【安堂委員】 防災無線でも簡単な英語を流したらどうか。完璧な英語ではなくても、それにより市民の感じる英語へのハードルも下がるのではないかと。</p>	1時間0分48
<p>【藏重委員】 ハードルを下げるには他の方法もある。今の時期は蓮ツアーを行って、まつわる単語を一つずつ知っていくなど。「蓮はロータスって言うんじゃないか」のように。</p> <p>・ ハードルは下げて、もっと喋ってもっとグレードを上げていく。</p> <p>・ カジュアルなオーラルイングリッシュと学校での英語の両立が必要なのではないかと。</p>	1時間13分
<p>【中邑委員】 運営について、誰がどのように企画するのか。</p> <p>・ こども館には保育士がいて、さまざまところに繋げてコーディネートしてくれる。</p> <p>・ 誰がどのように、適切な人たちを配置することが重要なのではないかと。</p>	
<p>【ソーレンセン委員】 基地に住んでいる人からのインプットはあったのか。</p> <p>【事務局：永木】 コロナの影響もあり、現時点では難しかったため、あくまで予想の中から行っている。</p> <p>【藏重委員】 ワークショップに参加表明した（基地関係の）5～6人のグループがいたが、コロナの影響で断念した。</p>	
<p>【事務局：永木】 今後（基地関係に対しても）機会をつくっていききたい。</p>	1時間6分37
<p>【角谷委員】 外国語を学ぶことも大事だが、言語の障害、文化の障害を「外国語で学ぶ」コーナーは大事。</p>	1時間7分29
<p>【藏重委員】 最近はZoomで授業をやっているが、断ったり削除したりしても、「喋れなくても喋れるようになるよ！」「今なら安いよ！」と広告がしつこく来る。この熱心さをどこかに取り入れると良いのではないかと。広告や宣伝は熱心に行う必要がある。</p>	1時間7分50
<p>【岩野座長】 登録した人にはどんどん情報が行くような仕組みができればよい。</p> <p>・ スタッフはどのようにトレーニングを行っていくか。</p>	1時間8分55

【DMM：宇野澤】DMM@AKIBA ではコワーキングスペースとして大企業とベンチャー企業が同居した施設だが、当初は相互のコミュニケーションがうまくいかなかった。そこで、コミュニティマネージャーを配置し、それぞれを繋ぐ役割を担ってもらったところ、相互のコミュニケーションが取れるようになった。

1時間 12分 30

- ・また、月に1回会員同士の交流会を実施。プレゼンを行い、「今、自分はこういうことをやっていて、こういう人と話したい」というアピールを、お酒を飲みながら行う会を開いている。これにより交流が活発に行なわれる。
- ・賑わいや、人をどのように集めるかについては、地道に営業をして案内をしていくことが重要と考える。

◆第2回ワークショップについて

【JMA：原】本来は第1回にハードな設備や機能等を話し合い、第2回はソフトな部分でイベントを考えてもらいポスターを作るようなことを想定していた。実際には、第1回で期待以上にソフトな部分の提案が出てきたため、第2回はもう少し深掘りできるようなワークショップの方法をDMMと検討中。

【事務局：永木】ワークショップ参加の年齢層は中学生から70代まで来ていただいた。第2回も同じメンバーで行う予定。

【中邑委員】小さい子どもたちの英語教室ができるセミナースペースがあれば、乳児もその親も子どもを通して外国人と仲良くなれるのでは。

- ・子ども英語教室を募集すると乳児の親も結構集まると感じる。

【岩野座長】施設内に授乳室やWCを設置。机の大きさ、高さも重要になってくる。

1時間 16分 55

- ・今後の予定は、新センターの整備、子どもたちの各種プログラム（英語キャンプなど）やフォーラムの計画。R2年最後に、何がどのように進んだか記録、とりまとめ、振り返る場を設けるのか。

【事務局：永木】フォーラムに関しては《資料2》に記載しているが、内容は今後検討していく。

【藏重委員】「英語があふれるまちいわくに」について、まだまだ不十分と感じる。通りや街路樹の名前などに英語表記をするなどしたらどうか。

【岩野座長】教育委員会の管轄でまずは学校から始められるかもしれない。

【事務局：永木】次回ワークショップは8月29日（土）。

1時間 20分 00

- ・次回検討会は9月上旬から中旬で検討している。

◆その他質疑回答

【藏重委員】「英語があふれるまちいわくに」について。もっと街に英語をあふれさせたい。

1時間 21分 35

- ・例えば、サンフランシスコの日本街には通りに必ず「カエル通り」など日本語で表記されていた。現在の岩国でも英語表記はあるが、他県と変わらない。日本語を英語で書いているだけ。警察や市等とのタイアップは必要かもしれないが、もう少し英単語があふれている町になると良い。

1時間 25分

- ・英語表記は子どもたちにも見える高さに設置するなど。

(以上)